

平成25年度京都大学図書館機構 講演会

東北大における留学生協働による
学習支援

東北大学附属図書館
情報サービス課専門員
横山美佳

1. 背景
2. 留学生コンシェルジュ
3. 活動状況
4. 成果と課題
5. 今後の展望

1. 背景 (1) 東北大学附属図書館 本館の紹介

本館

人文・社会・教養系

開館時間：平日：8時～22時

土日祝：10時～22時

入館者数：1日平均2,000名 平日平均2,500名

分館

4分館：医学分館、工学分館、北青葉山分館
(理・薬)、農学分館

図書室

14の部局図書室・研究所図書室

1. 背景 (2)東北大学のグローバル化推進の状況

「ワールドクラスへの飛躍」「復興・新生の先導」
「グローバル30」と「グローバル人材育成事業(全学推進型)」
の両方に採択された唯一の国立大学

グローバル30事業の推進

- ・留学生受入推進
- ・総合的な留学生支援
- ・英語コースの増設:
英語の授業のみで学位の取得が可能
- ・留学生の受入れ環境の整備:
短期留学生受け入れプログラムの拡充

グローバル人材育成推進事業の推進

- ・グローバルリーダー育成プログラム
 - ・語学力・コミュニケーション力養成
 - ・行動力養成
 - ・国際教養力養成
 - ・海外研鑽

外国人学生と日本人学生の共修環境を整備

グローバルキャンパスの実現

2本の柱ではなく、一元化した教育・学習支援体制を目指す

留学生数 : 平成24年度:78カ国・地域で、1,431名

中国53%, 韓国13%, インドネシア4%, 台湾・マレーシア各3%, その他24%

1. 背景 (3)東北大学附属図書館 本館の状況

(1)ラーニング・コモンズの設置

学生が主体的に学修するための設備と人的支援



アクティブラーニングスペース
座席を自由に組み換えて使用



人的支援

課題

- ・カウンター
- ・レファレンスデスク



アクティブラーニングスペース



PCエリア



長時間利用 ・ 短時間利用

1. 背景 (3)東北大学附属図書館 本館の状況

(2)留学生サービスの実態

留学生向け図書の
整備・提供
→周知が不十分

多言語の
利用案内作成
英語・中国語・韓国語
→配布しただけ

情報探索法の
英語版テキストの作成
→配布しただけ

人的支援

館内見学実施
→その後の利用に
結びついているかは不明

日本人学生との
異文化交流
→ほぼできていない

留学生・留学を目指す日本人学生

2. 留学生コンシェルジュ (1)企画と提案

留学生による留学生のサポート事業 留学生コンシェルジュサービス

- ① 留学生の学習支援および不安の解消
- ② 日本人学生との異文化交流
- ③ 就業体験による留学生の育成

平成24年度： 東北大学の留学生施策充実経費への
申請・採択（採択結果：10月中旬）

平成25年度： 前期と後期分を申請・採択

2. 留学生コンシェルジュ (2)採用

採用:

- ・教員の推薦(国際共修ゼミなども担当する教員)
- ・図書館員による面接
- ・留学生など5名を採用(時間雇用職員として)

教員に推薦を依頼する際に図書館側から希望した条件:

- ①大学院生であること
- ②分野と出身国は幅広く
- ③母国語の他に、日本語が堪能で会話・読み書き可能。
英語での日常会話が可能。ただし、英語が母国語でも可。

2. 留学生コンシェルジュ (3)実施体制

	平成24年度	平成25年度
実施期間	平成24年11月26日 ～平成25年3月15日	5月1日～7月31日 10月1日～2月28日
対応時間	平日 12:00-17:00	平日 13:00-17:00
対応言語	月 : 日・英・中	月 : 日・英・インドネシア
	火 : 日・英・インドネシア	火 : 日・英・ロシア・ウクライナ
	水 : 日・英・ロシア・ウクライナ	水 : 日・英・韓
	木 : 日・英・中	木 : 日・英・中
	金 : 日・英・中・インドネシア	金 : 日・英・中
専門分野	日本古典文学・日本思想史, 国文学, 経営政策, 言語学, 情報科学	日本古典文学・日本思想史, 国文学, 言語学, 臨床心理学, 情報科学

2. 留学生コンシェルジュ (4)採用時研修

採用時の研修

それぞれの勤務時間に実施
指導は、レファレンス担当職員

- ・職員として職務を遂行する上での心構え
- ・窓口対応で必要となる情報探索法のスキル習得

研修:全4日間程度

- ・図書館の利用方法、資料の配置、情報探索法 :1日(5時間)
- ・利用者の窓口対応実習 :3日間程度(15時間)

3. 活動状況

活動内容

(1) 留学生向け

- 1) 多言語案内作成
- 2) 留学生用図書の選書への参画・レビュー作成
- 3) 留学生向け館内見学対応(平成25年度～)

(2) 全学生向け

- 1) 窓口での相談受付
- 2) 講習会実施(平成25年度～)
- 3) 異文化交流イベント実施(平成25年度～)

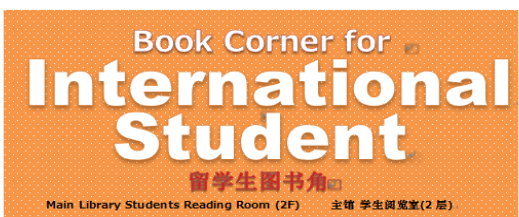
3. 活動状況 (1)留学生向け

1) 多言語の案内作成

- ・利用案内、ポスター、各種掲示類
- ・ウェブサービスや情報探索講習会資料の英語版

2) 留学生用図書選書への参画・レビュー作成

日本語学習用図書、世界文学の各国語版、日本に関する外国語の図書、留学生の母国で読まれている文学作品等



We have prepared special corner called "Book Corner for International Students" dedicated to international students who are having difficult time enjoying reading Japanese books due to language barrier. This corner offers many useful books which have been carefully selected for the best reading experience. There are a wide variety of books in this corner such as textbooks for studying Japanese (we highly recommend you to "Japanese extensive reading" materials which will allow you to train yourself reading Japanese texts without the use of dictionary by understanding the overall context), foreign books written in many languages that contain useful information about Japan (we prepared many books especially for international students from East Asia region), and also popular books from various countries. Please visit and use this corner. Let's overcome the language barrier and enjoy a wonderful reading experience...

- ・ Japanese language textbooks ・ Japanese extensive reading materials .
- ・ Japanese culture and society books .
- ・ Popular Japanese literatures translated in Chinese and Korean .
- ・ Literatures that widely read around the world .
- ・ World's classic books written in their original language .

来自世界各地的留学生中，想必有不少人因为语言的障碍而无法充分享受读书的乐趣吧。因此，图书馆特意为使用各种语言的留学生们设置了一个“留学生图书角”。精心准备了一批适合留学生阅读的书籍。这些书籍主要有：日语学习资料（特别推荐的是“日语泛读资料”——通过不借助词典大量阅读，迅速提高日语的听读理解能力）、了解日本的文化、社会等背景知识类的日语书籍（其中，特别为留学生准备了许多高质量的来自东亚地区的留学生们喜爱的日本文学、动漫类日语图书），甚至还有在留学生们的祖国广受欢迎的人气作品等等。我们准备了各类书籍以供您阅读，让我们充分利用“留学生图书角”，打破语言障碍，享受丰富多彩的读书乐趣吧！



オススメ本に関連し、留学生制作の折り紙を展示

← 留学生図書コーナーのポスター・チラシ (英・中)
チラシは留学生の授業でも配布



留学生オススメの1冊コーナーでレビューを掲示

3. 活動状況 (1)留学生向け

3) 留学生向け館内見学(平成25年度～)



見学者数

平成24年度 約30名 → 平成25年11月現在 約170名
(職員対応)

3. 活動状況 (2)全学生向け

1) 窓口での相談受付

場所:レファレンスデスク内

対象:全ての図書館利用者(留学生も日本人学生も)

件数:平成24~25年度前期(約6ヶ月) 約400件

図書館の入館ゲートを通して、一番最初に現れる職員が留学生コンシェルジュ

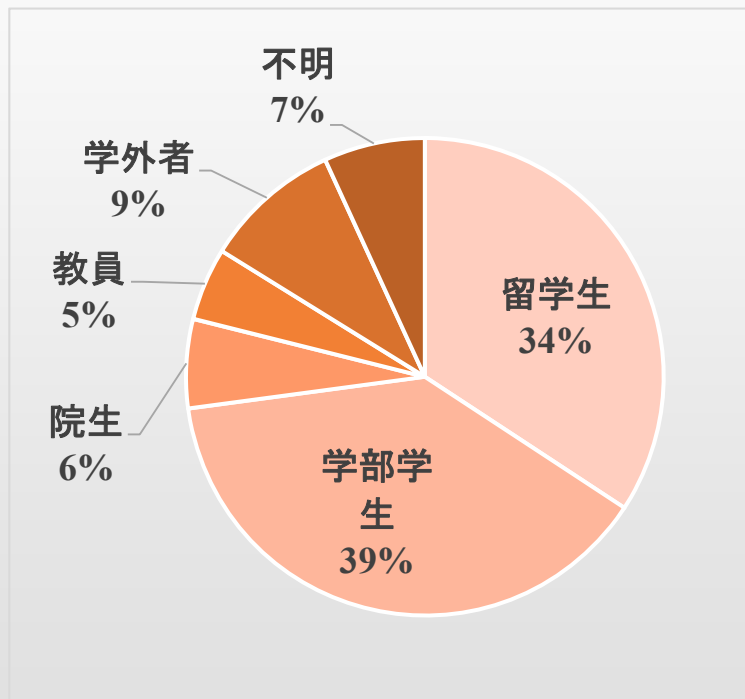


3. 活動状況 (2)全学生向け

①相談に訪れた利用者の内訳

留学生 34%

日本人学生等 59%

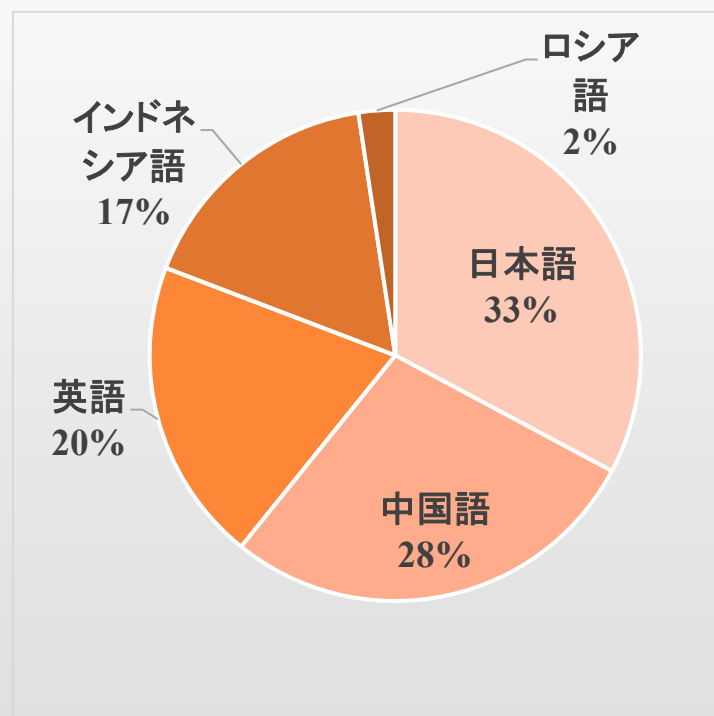


※本学の平成25年度学生総数:17,849名、留学生数:1,436名

②留学生対応で使用した言語

日本語 33%、英語 20%

その他 47%



留学生にも日本人学生にも幅広く活用

多言語化の効果

3. 活動状況 (2)全学生向け

③相談内容

・利用指導

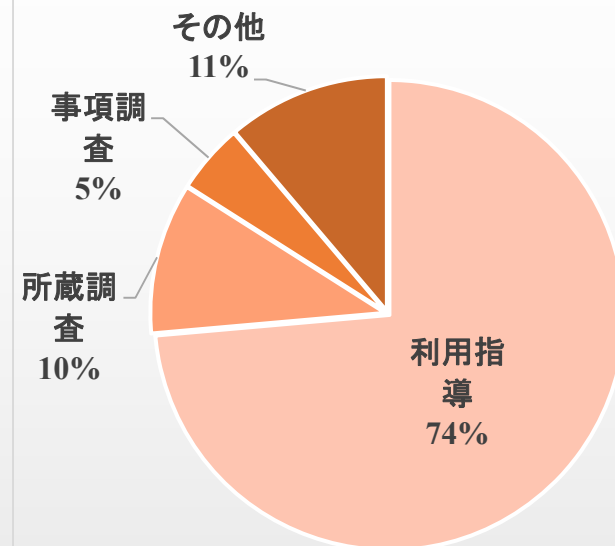
図書館設備の利用、貸出・返却、パソコン・無線LANの利用、データベース等の検索、他館からの文献取り寄せ

・所蔵調査・事項調査

レポート等作成のための文献調査

・その他

研究計画書・レポート作成の相談、日本語に慣れないことの悩み相談 など
(ライティングのサポートや先輩留学生のアドバイス)



対応記録は留学生コンシェルジュ同士の情報共有に活用

レファレンスデスク: 所蔵調査・事項調査(90%) その他(9%) 利用指導(1%)

留学生コンシェルジュが職員のサービスを補うことで、
図書館全体として人的支援が強化

3. 活動状況 (2)全学生向け

2) 講習会実施の試み

レポート作成法セミナー(平成25年度)

- ・対象:学部1年生
- ・内容:第一部:講義「レポート作成法入門」<職員>
第二部:個別セミナー
体裁編・文章技術編・内容充実編<留学生コンシェルジュ>
- ・参加者数:53名



受講者の感想

- ・非常にわかりやすい説明で大変勉強になりました
- ・実体験を交えながら説明していただき、さっと頭の中に入りました



- ・日本語でレポートを書く留学生・日本人学生のサポートに活用
- ・英文レポート作成法の講習会などにも発展

3. 活動状況 (2)全学生向け

3) 異文化交流イベント実施の試み

- ・平成25年度オープンキャンパス 7月30日・31日
- ・高校生向けの異文化交流イベント「留学生と話してみよう！」実施
- ・参加者数:2日間で、97名

時間	内容
13:30ー	私の研究(軍記物語における思想)と翻訳 (軍記、一休ばなし)
14:00ー	韓国の紹介及び韓国の高校生の生活
14:30ー (7/31のみ)	日本でよく聞かれる中国のことについて



・自分が参加したオープンキャンパスのイベントの中で、一番充実して楽しかった



今後、学生との異文化交流の取り組みに繋げていく

4. 成果と課題 (1)利用者の感想・意見

窓口を訪れた利用者への聞き取り調査から得られた感想等

■良かった点

- ・気軽に質問できて嬉しい。
- ・母国語による対応のおかげで、館内設備の利用や文献収集がスムーズになった。
- ・留学生用図書コーナーを紹介してもらったのおかげで、日本語の学習に役立つ本を何冊か見つけることができた。

■要望

- ・夜間にもサービスを行って欲しい。
- ・館内案内の多言語化を進めて欲しい。

4. 成果と課題 (2)留学生コンシェルジュの感想・提案

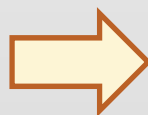
留学生コンシェルジュから出された感想・提案

本サービス導入の目的	① 留学生の学習支援 および不安解消	② 日本人学生との異文化交流	③ 就業体験による留学生の育成
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の壁で十分に図書館を活用できていない留学生に母国語で説明し、自分の経験やノウハウも伝えることで、利用者の悩みを解消できたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この仕事を通じて、留学生や日本人学生と話す機会が得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を通じて、知らなかったデータベース等の活用法を習得できた。また、専門分野以外にも様々な相談に応じるため、自身もスキルアップを図ることができた。 ・留学生用図書のリビュー作成や見学対応、イベント実施などは楽しんで取り組めた。
提案	<p>留学生同士で本を紹介し合うイベント企画</p>	<p>留学生と外国語を学びたい日本人学生が交流する場の提供</p>	

4. 成果と課題 (4)成果

1. 学内関係部署・教員・グローバル推進事業との新たな連携協力が生まれた
2. ラーニング・コモンズにおいて、留学生協働により、図書館全体の人的支援が強化、サービスも向上
3. 図書館における留学生サービスを次の段階に進めることができた。

従来の留学生向けサービス



留学生・留学を目指す日本人学生双方の支援 と 異文化交流

「グローバルラーニング」への展開

グローバルラーニング

米澤⁶⁾

これからのラーニング・コモンズの可能性の一つとしてグローバルラーニングを挙げ、これを「**学生のグローバル化に資する学習**」と定義。

- ①国内の学生が海外留学するために必要とする学習
- ②海外からの留学生が国内で必要とする学習
- ③それらの学生たちと地域・社会が交流することで得られる学習

構成要素：語学学修、異文化学習、留学学習、多文化交流

1. 留学生コンシェルジュサービスの継続・定着

→予算の確保・留学生関連部署との連携強化

2. 留学生コンシェルジュ企画の推進

職員企画から留学生コンシェルジュ企画へ

異文化交流イベント企画など

→企画力アップの仕掛けが必要

5. 今後の展望 (1)

● 里見ビジョン



学生が国際社会で力強く活躍できる人材へと成長していく場を創出します。



世界をリードする研究拠点として優れた研究者が集う開かれた研究環境を創出します。



総合大学としての多様な「知」を結集し、東日本大震災からの復興に寄与する多彩な活動を展開します。



産業界との連携を深め、イノベーションを創出します。



国内外の多様なパートナーと協働し、社会に「知」を波及させます。



多様な価値観が交流し、多文化が共生する開かれたキャンパスを実現します。



構成員一人ひとりの活力を相乗的に高める大学経営を確立します。

国際交流と知的交流を促すキャンパスの整備
「ラーニングコモンズとしての附属図書館の整備充実」

典拠：東北大学総長室.VISION6.里見ビジョン2013.

5. 今後の展望 (2)

□ 東北大学の「ラーニング・コモンズ」キャンパス

本学の学生支援体制についての提言

教育改革推進のための6つの基本方針

5. 「ラーニング・コモンズ」キャンパスを構築

5. 今後の展望 (3)

グローバルラーニングエリアの設置

グローバルラーニング支援

国際共修

- ・国際共修授業との連携（場所の提供、関連図書の収集・提供）
- ・留学生と日本人学生の語学学習、交流イベントの開催
- ・課外活動の場の提供、各種セミナー・イベント開催

留学生

- ・館内案内等の多言語化
- ・留学生向け図書の収集・提供
- ・多言語でのサポート

日本語・日本文化を
学びたい
留学生

- ・語学学習用図書の収集・提供
- ・授業との連携した資料の収集・提供、イベント開催

日本人学生

- ・語学学習用図書の収集・提供
- ・留学情報の収集・提供
スタディアブロードプログラム(SAP)

留学生コンシェルジュ

企画・実施

グローバルリーダー

支援

図書館

留学生関連部署・教員等

参考文献

- 1) 附属図書館情報サービス課. ラーニング・コモンズにおけるピア・サポーター-留学生コンシェルジュの導入事例報告-. 東北大学附属図書館調査研究室年報. 2013;2(印刷中)
- 2) 横山美佳. 東北大学における留学生コンシェルジュの導入: 留学生協働によるグローバルラーニング支援の試み. 医学図書館. 2013;60(4)(印刷中)
- 3) 東北大学グローバル・リーダー育成プログラム[internet].
<http://tgl.tohoku.ac.jp/training.html> [accessed 2013-12-02]
- 4) 東北大学Future Global Leadership Program[internet].
<http://www.fgl.tohoku.ac.jp/japanese/index.html> [accessed 2013-12-02]
- 5) 東北大学総務部広報課. 外国人留学生数. 東北大学概要. 仙台:東北大学広報課;2012.
p. 63.[internet]. <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/pub/gaiyou/gaiyou2012/index.html>
[accessed 2013-12-02]
- 6) 米澤誠. アクティブな教育と学習の場としてのラーニング・コモンズ考. 大学マネジメント
2013;9(7):21-26
- 7) 東北大学総長室.VISION6. 里見ビジョン2013. 2013:18 [internet]
http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/president/01/president0101/SATOMI_VISION2013.pdf
[accessed 2013-12-02]